

令和4年度 生徒自ら行う学習環境整美事業実績報告書

下高井農林高等学校長

1 事業①

事業名	「農林コレクション」展示館（仮称）の整備
実施主体名	3年選択日本史選択生
実施人数（生徒）	12名
〃（職員等）	1名
実施日	9月30日・10月5日・10月12日
事業内容	戦前から戦時中に集められたと考えられる本校所蔵の石器・土器・鉱石・化石など旧石器時代から中世、一部近現代の「農林コレクション（仮称）」を今後の探究的な学習に活用できるような学習環境づくりを実施し、本校3階旧 LL 教室を整理して展示できるようにした。

（実施前）



（作業中）



（実施後）

物置となっていた木造の旧校舎を中心に放置され忘れ去られていた本校所蔵の石器・土器・鉱石・化石など旧石器時代から中世、一部近現代の「農林コレクション」の数々の品々をプラスチック製の箱に移し換え、おおまかな時代別に整理し展示することで、今後の探究的な学習に活用しやすくなった。生徒は、移し換えや清掃などの作業に積極的に取り組み、LL教室が片付いたことで、「農林コレクション」を見やすくなったと喜んでいました。

2 事業②

事業名	畜舎周辺整備		
実施主体名	動物科学コース		
実施人数（生徒）	6人		
〃（職員等）	3人		
実施日	9月30日		
事業内容	堆肥舎前に排水溝が存在しているが、排水の機能を果たしていない状況にある。この排水溝は、実習の際に、生徒が落ちて転ぶこともあり、危険個所となっている。そのため、この排水溝を生徒自らコンクリート打設を行い、フラットな状態にする。		

	実施前		作業中
	作業中		作業中
	作業中		実施後

堆肥舎前に排水機能のない排水溝が存在していた。この排水溝を授業の一環でコンクリートを打設して埋めたことで、段差がなくなり安全に通行できるようになった。自ら環境整備することの大切さを学ぶとともに、他にも危険な個所がないか点検しようとする安全管理に対する意識の向上が見られた。

3 事業③

事業名	冬囲い製作
実施主体名	森林活用コース選択生
実施人数（生徒）	6名
〃（職員等）	3名
実施日	11月4日、18日、12月5日
事業内容	林業プレハブ倉庫の冬囲いが経年劣化で使用できなくなったため、新たに冬囲いを製作した。



実施前

林業プレハブ倉庫の冬囲いが経年劣化で使用できなくなっていた。



実施中



実施中



実施中



実施後

飯山は冬の積雪量が多く、こうした雪囲いは生活の中で必要不可欠である。本校で学ぶ生徒は、雪の少ない地域から通学しており、雪囲いを初めて目にする生徒もいる。雪囲いについて学ぶとともに、施設を管理することの重要性を理解することができた。